



虹のまち

とやま医療生協

2026年1月号 No.513

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8
☎076-441-8352 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
<https://www.toyama-hcoop.com/>
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com
毎月1回発行
定価 1部30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)

発行 富山医療生活協同組合

謹賀新年
2026

本年もよろしくお願い致します

富山医療生協	理事・監事一同	職員一同
富山協立病院	在宅福祉総合センター「ひまわり」	
所長 大堀 成	在宅福祉総合センター「えがお」	
水橋診療所	施設長 加藤 寿子	
所長 山本 美和	施設長 小西 直英	
施設長 喜多 利晃		

ぱ
ぶ
ら

の
び
の
び

え
が
お

き
ず
な

ひ
ま
わ
り

協立病院リニューアルから一年が経ちました。大変厳しい経営環境の中、全職員が懸命に努力を行った結果、上半期事業利益は目標を大きく超過達成することができました。組合員さんをはじめ地域の方々のご支援に心より感謝申し上げます。

昨年はひきつづく物価高騰、人手不足、人件費上昇、医師・看護師の確保困難などに加え、国どうしの対立・紛争、排外主義の台頭など、新たに懸念される問題も出てまいりました。わたしたちは医療生協・民医連の原点である「健康と平和・くらしをまもる」「無差別平等の医療」という理念を高く掲げ、ひきつづき努力を続けてまいります。

今年が皆様にとって健やかで幸せな一年であることを心よりお祈り申し上げるとともに、引き続きご支援いただきますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

あけまして
おめでとうございます

富山医療生活協同組合
理事長 火爪 健一

富山協立病院が開設以来五十年の歴史を重ねています。組合員と職員が共に頑張つて、事業を展開し、今世の中には創業以来脈々と事業を続ける総合建設業大手「清水建設」が在ります。創業者の清水喜助翁の生誕地がここ富山市小羽(神通狭春日温泉郷の西の対岸)。二十一歳の喜助は一八〇四年、文化元年、(明治維新の六十四年前)江戸へ出て大工店を開業。以来二百二十二年、これを引き継いだ社員は時の情勢や経済環境など刻々変化の中、時には運営の浮き沈みを受けたことも有ったかも知れない。今、小羽の生誕地裏手の小高い丘に「清水記念公園」が建つ、近くに生家跡(いまは水田跡?)が在る▼話を戻そう、私たち医療生協の病院は五十一年前、豊田病院として二十四床で開院。準備段階には戦後の混乱期、医療生協結成への呼び掛け、設立に奔走の立役者が苦労、組合員数も徐々に増え、レンタルゲン機器など、設備の充実に向けた歳月が実り、現在の富山医療生協となり、組合員の購読料は出資金に含まれています)で行きました。先輩から受け継いで恩恵を享受している、この先は次世代へ繋い

内視鏡

未来を紡ぐ 富山協立病院 健康まつり開催

2025年11月、新病院を会場に「健康まつり」りかえり、「いま」を確認し、未来へ歩みを進ともに歩んできた50年を祝う場となりました。「つながりをつくる」を意識し、世代を超えた交り組みを開催しました。

お菓子の家作り

ゆるやかに多世代が交流

青池学園や富山福祉短期大学の学生ボランティアの協力もいただき、「eスポーツ」や「お菓子の家づくり」、「タクティールケア」など子どもから大人も楽しめるコーナーも。親子連れの参加でぎわいました。

病棟職員“ステージ企画”

太鼓の達人

骨盤ケア
骨盤底筋をきたえる体操

奥田合同支部“焼き芋販売”

大広田支部“ドリップコーヒー販売”

浜黒崎支部“陶器販売”

とよた4支部“フリーマーケット”

健康チェック“血糖値チェック”

職員、組合員が協同して

健康チェックや各種模擬店に組合員、職員が大活躍。地元のキッチンカーの出店もあり、行列がつくほどでした。

“ポップコーン”“わたあめ”販売

“タクティールケア”体験
触ることで安心とつながりを届ける

50周年記念企画「病院川柳」

50周年記念にあたり「病院川柳」を募集したところ、187句もの応募が寄せられました。健康まつり当日には来場者による投票が行われ、グランプリが決定しました。

「辛い時 ありがとうに 救われた」
たくさんのご応募ありがとうございました。

4面ミニニュース



50年振り返る

斎藤医師 講演スライドより～



1956年 富山診療所と名称変更
(同胞会館に間借り)

戦後の厳しい環境の中で政治闘争を中心にしていた国民救援会から医療を中心課題とする医療生活協同組合へ



豊田病院 24床で開院
常勤医4名の体制で診療を開始。
1978年には60床に増床。検診車を導入し、労働現場での本格的な健診業務を開始しました。
1983年にはCTなど県下有数の設備を持つようになりました。



1975年 豊田病院開院

1986年 豊田病院190床へ
豊田病院から富山協立病院に名称を
変更しました。その後、腎透析セン
ター開設などを行い、地域における
中核病院としての役割を果たしてきま
した。



2024年12月 新病院グランドオープン

地域とともに 50年

富山協立病院は、創立50周年という節目を迎え、
を開催しました。今回の企画は、「原点(歴史)をふ
める機会にする」ことを目的とし、地域の皆さんと
今年度の方針である「新しい出会い・ゆるやかな
流や参加者同士の自然なつながりを大切にした取

富山医療生活協同組合

富山協立病院 年表

1950	労農救援会歯科診療所開設	1987	富山協立病院へ名称変更、 宝町に富山診療所を移転
1951	富山国民診療所へ改名、内科診療開始	1988	ボランティアの会発足
1953	全日本民医連結成・加盟	1991	人工透析開始
1955	石川民医連から常勤医として黒部信也医師を迎える	1992	東別館完成、腎・透析センター開設(12床)
1956	富山医療生活組合 富山診療所に改組	1993	水橋診療所開設、富山民医連結成
1962	富山医療生活組合発足	2000	療養病棟45床導入
1965	新桜町に富山診療所を新築	2002	マンモグラフィー導入、肛門科を開設
1970	高血圧患者会「らいちょう会」、 糖尿病患者会「きぼうの会」発足	2005	外科全身麻酔手術終了、 もの忘れ外来、メタボリック外来開設
1972	富山市北部大気汚染調査健診実施 豊田に病院建設予定地購入	2006	豊田地域包括支援センター受託
1973	肝臓病患者会「肝よう会」、 リウマチ患者会「かもしか会」発足	2007	36床を休止し3病棟運用となる(稼働病床 154床)、通所リハビリ「とよたしゃきしゃ き」開設
1975	豊田病院 24床で開院	2010	無料低額診療開始、一般病床16床を返上、 174床となる(20床休止)
1976	喘息患者会「あおぞら会」発足、 訪問看護開始	2011	東日本大震災 物資・医療支援を13次に渡 り実施
1978	豊田病院 60床へ増床	2015	西3階病棟に地域包括ケア病床(16床)を導入 (一般病床は29床)
1979	小児科開設、健診車購入	2019	西3階病棟地域包括ケア病床を42床へ増床 (一般病床は3床)
1980	富山医薬大からの援助で泌尿器科開設、 救急病院指定	2022	「とよたしゃきしゃき」廃止
1981	こばと保育園開設	2024	3月 新病院開設(164床) 7月既存棟改修完了 12月外構工事終了 新病院グランドオープン
1983	豊田病院 128床へ増床	2025	病院50周年
1984	心臓病患者会「健心会」、 小児喘息患者会「こばと会」発足		
1986	豊田病院 190床へ増床、 皮膚科外来・外来夜間診療開始		

富山協立病院設立50年・病院リニューアルオープンに想う

才藤 抱一さん(元副理事長)

富山医療生協に加入

1962年私が富山に転勤してきた頃、医療生協結成の準備が進められていました。戦前から無産者診療所運動にも参加され、大企業の総務部長も経験された村上虎雄さんなどが奔走し、金沢大学医学部学生で内灘闘争にも参加していた黒部信也先生が内科医師として赴任してくださいり富山医療生協として発足することができようになりました。

1962年12月、設立登記時組合員は328名、出資金1,744,250円でした。私は村上さんに誘われて、医療生協の620人目の組合員になりました。当時の出資金は一口500円でした。

患者会の活動を通して

B型肝炎を発症、治療後社会復帰した後は、「ウイルス性肝炎患者会」を生協職員の協力も得ながら結成し、全国肝臓病患者連合会とも連携し活動しました。第二の国民病と言われ治療薬もまだ開発途上の中、患者会は各地で講演会などを開催し、厚生省にも治療薬の早期開発と撲滅計画を策定するよう要望し、妊産婦健診や予防接種による肝炎患者の救済など運動は大きく発展しました。

富山医療生協の理事として

「患者会活動や新しい経営感覚を持った理事が欲しい」と理事就任を要請され、その後理事、常務理事、副理事長として24年間参画してきました。

組合員活動では機関紙手配り100%を目指し、病院職員と一緒に地域に入り機関紙手配りを増やしたこと、富山市の環境保健衛生協議会と一緒に地域の健康教室に協力を行うなど「地域まるごと健康づくり活動」をひろげてきました。

共同組織の力を結集し、東日本大震災などの災害に立ち向かう

2011年、東日本大震災では民医連の要請を受け福島県郡山医療生協まで4トントラックに医薬品・灯油や防寒衣料など詰めるだけ詰め込み支援物資を運びました。携行缶で運んだガソリンを受け取り「これで患者訪問ができる」と喜ばれた職員の顔が印象に残っています。熊本地震の際にも、組合員さんからの募金を直接、民医連加盟芳和会くわみず病院に届けるなど支援活動に携わりました。

組合員・民医連の職員に期待する

戦後、私たちの先輩は全国各地で血のにじむような闘いの中で民医連を組織し、民医連綱領として結実させました。皆さんには、学習し、綱領に掲げた課題の実現めざして奮闘して欲しいと願っています。

「人の命・健康を護ることを使命とする医療人として、それを根底から破壊する戦争は受け入れられないとして、戦争に反対し、平和を守ること」をこれまででも職員の皆さんに訴えてきました。

組合員と職員が文字通り車の両輪となって平和を守り、民医連運動を発展させて欲しいと願っています。



無料法律相談のご案内

さだ よし
西山貞義弁護士
(富山中央法律事務所)

• 1月28日(水) 時間は
• 2月26日(木) 午後2時～4時
• 3月25日(水) 予約して
◎場所及び申し込み ください
富山協立病院 地域連携室
☎076-444-5708

組合員新年作品展

油絵 「祈りへの坂道」
萩原 隆(上市支部)

竹細工 馬
岡本 武夫(藤ノ木支部)

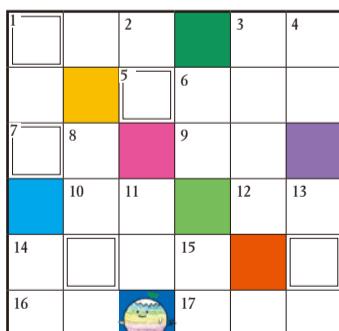
ビーズ細工 鶴と亀
岡本 雅子(藤ノ木支部)

土人形絵付け 午
杏子班(和合ローズ支部)

編みぐるみ 午
舟田 照美(桜谷支部)

The illustration features a large, colorful egg character on the left, drawn with a simple black outline. The egg has a smiling face with two black dots for eyes and a curved line for a mouth. It is decorated with horizontal stripes in various colors: yellow, orange, red, purple, blue, and green. Small black feet and arms are attached to the bottom and sides of the egg respectively. To the right of the egg, the text 'えーるんをさがしてね!' is written in a large, bubbly font. The 'e' and 'n' are in pink, while the rest of the letters are in blue. The background is a light blue with a pattern of white stars.

転居先を必ず連絡して下さい。
住所・電話番号の変更や
家族の変更がありましたら、
生協本部まで連絡下さい。



★ よこの力ギ ★

- ① 木版等で刷った絵
- ② 盤から中盤へ
- ③ 付和 ——————
- ④ にもかけない
- ⑤ に花一輪
- ⑥ ⑦ ピンから——まで
- ⑧ 富士山の五——目
- ⑨ のからまる壁
- ⑩ 奈良公園に多い
- ⑪ チェツと——する
- ⑫ 益の対。——虫
- ⑬ を勝ち抜き決勝
- ⑭ 書物にあらわす。
- ⑮

【問題】
力ギを解き二重枠の字を
並べてできる言葉を答えな
さい

伊藤 幸恵（富山市金山新東）
井村 清（富山市五艘）
高木由紀恵（富山市水橋北馬場）
松田 智枝（富山市田畠北部）
菊 美智子（射水市草岡町）
小野寺三枝子（中新川郡立山町）
池田 初子（高岡市戸出町）
岩崎 千鶴子（富山市中田）
高田 京子（射水市二口）
和田 義政（富山市千石町）

〔賞品〕
正解者の中から十名の方に
五百円分の図書カードを贈呈
生協「虹のまち」パズル係

尚、虹のまちに掲載させて頂く事がありますので、ご了承下さい。

